

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 2 市民が安全に暮らせるまちになる

行動目標 2-1 災害のないまちになる

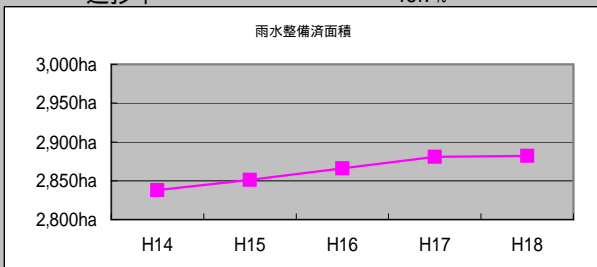
(所管課名 上下水道局 下水建設課・下水施設課)

任務 市民の生命、財産を守る雨水排水事業を行う

任務の成果・活動指標の推移

雨水整備済面積

H14実績	2,838ha
H15実績	2,851ha
H16実績	2,866ha
H17実績	2,881ha
H18目標	2,882ha
進捗率	49.7%



指標の説明

雨水対策事業の進捗による下水道計画に基づく整備完了区域面積を示すものである。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

市民の生命、財産を守るため、効率的な雨水排水事業に取り組んできたが、雨水の面整備は目標より下回っているものの、既整備区域における都市型浸水へ対応してきた。取組事業は次のとおり。

市内各所にて、ボトルネック点の解消のための水路整備等を進めてきたが、併せて市中心部の浸水対策事業に取り組んだ。平成14年度に事業着手した阿瀬知雨水1号幹線は、平成17年度には直径3000mmの貯留管布設工等を施工し、また、中央通り地下に布設する直径5000mmの中央通り貯留管布設工は平成17年度から事業着手した。

河原田地区の浸水防除のため、平成8年度から事業着手した河原田ポンプ場は、平成17年度末に供用を開始した。

朝明都市下水路事業は平成6年度に事業に着手し、平成17年度の完了を目指して実施してきたが、北勢バイパスとの協調施工等の関係から、平成18年度の完了となる。

平成18年度

引き続き、市内各所において、ボトルネック点解消のための水路整備など、浸水対策を進める。

阿瀬知雨水1号幹線は、平成19年度末に供用開始を目標に整備を進めるが、それまでの間暫定供用を図る。

中央通り貯留管は引き続き事業を進め、平成21年度には供用開始を予定している。

楠地区雨水対策事業に着手する。

これからの課題、施策等展開の方向性

阿瀬知雨水1号幹線、中央通り貯留管などの継続工事の早期完成、水路整備を進めるとともに、ポンプ場の施設更新を行い、浸水対策を進め市街化区域の浸水被害の防除を図る。

楠地区雨水対策事業について、多額の事業費と年月を要するため、年次計画を定めて着実に事業を進め、事業効果の早期発現を目指す。